

海外医療福祉建築視察団 2025

新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響でしばらくお休みしていた海外視察団ですが、次年度はシカゴ（米国）およびモントリオール（カナダ）の訪問を検討しています。

特に都市型の大学病院を中心に、患者や家族・医療者のための空間づくり、アート・インテリアデザイン、先端医療における IT 技術の活用、環境の配慮、災害対策の工夫などを学びます。現在の視察先候補は、こうしたテーマにおいてそれぞれの国や地域で建築家協会のヘルスケアデザインアワードや LEED のゴールド認証などを獲得しています。いずれの都市も建築的見どころも多く、シカゴ建築やモントリオール万博公園内の建造物も楽しんでいただけるよう行程を計画中です。

またオプションツアーとして、米国医療福祉建築分野の第一人者である David Allison 教授（Clemson 大学、サウスカロライナ州）を訪問し、近年のアメリカでの建築計画的トピックを学び、現地のプロジェクト見学を行う予定です。医療福祉建築を取り巻く米国の社会的背景を、より深く理解出来る機会になると考えています。

詳細が決まり次第お知らせいたしますので、ぜひご検討ください。

- 日程： 2025年9月中旬の9日間を予定
- 訪問先（予定）： 米国（シカゴ）、カナダ（モントリオール）
- オプションツアー： 米国（クレムソン）、4日間を予定
- コーディネーター： 小菅 瑠香（芝浦工業大学教授）



（公社）日本医業経営コンサルタント協会「医業経営コンサルタント」継続研修（予定）
建築CPD（継続能力/職能開発）情報提供制度認定プログラム（予定）